

ジャパン・テキスタイル・コンテスト 2022 エモーショナル賞受賞 ～京都府織物・機械金属振興センターの受賞は5年連続に～

当センターが開発した生地「NFT と織物の協業の可能性探求 I」がジャパン・テキスタイル・コンテスト 2022 でエモーショナル賞を受賞しましたのでお知らせします。
当センターの受賞は、5年連続となりました。また今回の受賞者の内、3年以上連続の受賞者は当センター徳本主任研究員のみです。

1 コンテスト概要

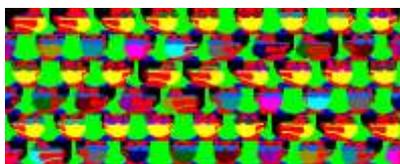
- (1) 名称 ジャパン・テキスタイル・コンテスト 2022
- (2) 主催 同開催委員会（一宮市、一宮商工会議所、尾西毛織工業協同組合、一宮繊維卸商団体連合会 等）
- (3) テーマ 次代のファッション産業を担う人材の発掘・育成
- (4) 賞 グランプリ 1点、準グランプリ 1点、新人賞 1点、エコロジー賞 1点、イノベーション賞 1点、エモーショナル賞 1点(※1)、優秀賞 12点
(※1 色柄のデザイン性や表現力に感動を与えるパワーのある作品)
- (5) 応募結果 192点（一般の部 129点、学生の部 63点）
- (6) 審査会 令和4年10月12日（水）、13日（木）

2 当該生地の特徴

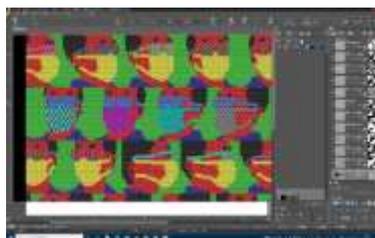
- (1) 生地名 NFT と織物の協業の可能性探求 I
- (2) 特徴 NFT(※2)でよく目にするピクセル画が、紋織物を製造するための意匠図と親和性が高いことに着目し、たて60ピクセル×よこ100ピクセルのピクセル画を意匠図として、様々なマスクやメガネを付けた人の顔を織りました。
なお本開発は、昨年度に開発、導入したシミュレーションソフトにより意匠図に適用する織物組織を確認しながら行いました。
(※2 Non-Fungible Token。ブロックチェーンの技術により改ざんできない唯一無二の資産)
- (3) 用途 ジャケット、カバン、インテリア等
- (4) 開発者 当センター 技術支援課 徳本主任研究員

3 今後の普及

- ・丹後織物産地で一般的なジャカード設備で製造できる素材であり、NFTを織物に組み込もうとする産地企業に技術情報並びにニーズや人脈といった情報の提供を行います。
- ・このため、SNSやオンライン配信を活用して、電子媒体であるピクセル画を織物に置き換えられることについて、NFTアーティストやクリエイター等へ情報発信を試みます。
- ・また令和5年2月15日～17日に東京ビッグサイトで開催されるギフト・ショー（SOZAI展）に当センターが出展し、広く情報発信を行います。



意匠図としたピクセル画



シミュレーションソフトでの織物組織の確認



織物(NFTと織物の協業の可能性探求 I)

【本報道発表に関するお問合せ】

京都府織物・機械金属振興センター
技術支援課 織物グループ 徳本主任研究員 TEL 0772-62-7402

